

## 令和8年度第1回総合教育会議に係る議題提案書

課名	企画政策課
<p><b>【テーマ】</b> 学校支援ボランティアを含むボランティア登録の統合に向けた検討について</p>	
<p><b>【背景】</b> 本市では市民協働をまちづくりの基盤に据え、市民活動センターで多岐にわたる分野で団体登録をおこない、社会福祉協議会では福祉や防災、防犯などの分野でボランティア登録を行っている。また、教育委員会でも地域全体で学校の支援や子どもの成長を支えることを目的とした担い手の登録・活用をしている。</p> <p>しかしながら、ボランティア登録に関して登録窓口と運用・制度が複数存在し、登録者のみならず市民全体に分かりにくいことや、活動を希望する人材を分野横断的に把握し、支援を必要とする活動につなげる仕組みが十分に整理されていない状況がある。(別紙1)</p> <p><b>【要旨】</b> 前述のとおり各課及び関係機関において、それぞれの目的に応じたボランティア登録や管理が行われている。一方で市民や団体にとって登録先や活動先が分かりにくい面があり、活動を希望する人材や団体の情報を分野を越えて横断的に把握し、必要な活動につなげる仕組みについて、今後整理していく必要がある。</p> <p>今後の検討にあたり、登録項目、利用目的、保険、コーディネート体制、個人情報取扱い、各制度の運用方法を整理した上で、市民や団体にとって登録しやすく、活動につながりやすい仕組みづくりについて協議を進める必要がある。</p> <p>したがって、ボランティア登録の統合に向けた検討については、本会議にて市長部局と教育委員会でその方向性を確認し、今後の事務方の協議につなげていきたい。</p>	

## ⇒ボランティア登録の統合に向けた検討により期待される効果

市民や団体からは経験や特技を地域に生かす機会が増加し、地域や学校からは、活動に必要な人材や団体（スポーツ指導や文化的専門知識、デジタル技術をもつ人材資源）が見つけやすくなるだけでなく、行政としても分散している登録情報や地域資源を横断的に把握しやすくなる。

### 【事例】（参考となる先進的な取り組み）

※システム導入を前提に検討していくものではない

#### ・ やとみっけ（地域資源バンク） 弥富市

市内の様々な「ヒト（スキルや思いを持つ個人・団体）」「モノ（イベント資機材など）」「場所（活動スペースや店舗）」といった地域資源をデジタル上で可視化し、一元管理する Web ポータルサイト（プラットフォーム）を採用。

#### ・ あいち協働プラットフォーム（あいプラット） 愛知県

県内のボランティア、NPO、企業、大学、行政の情報をひとつのシステムに集約した主体が多様な総合プラットフォーム。

### 【意見】

- ① 現在、市民活動センター（企画政策課）、学校教育課、生涯学習課、社会福祉協議会でボランティア登録と管理を行っている。まずは、相互の状況や課題を共有し合い、各制度の登録方法（登録項目、利用目的、保険、コーディネート体制、個人情報取り扱いなど）を整理した上で市民や団体にとって登録しやすい環境の整備を目指して協議を進めていきたい。
- ② 近年では企業の社会貢献活動を実施したい提供側からのニーズが増えているほか、あま市に留まっていなくてもあま市という“ふるさと”に寄り添ってくれる方を「新たな社会資源」として積極的に受け入れる制度設計も念頭に検討していけないか模索していきたい。